栽培に適する自然的条件に関する基準

果樹の種類＼区分		平均気温 年	平均気温 4月1日～10月31日	冬期の最低極温	低温要求時間	降水量 4月1日～10月31日	気象被害を防ぐための基準
かんきつ類の果樹	うんしゅうみかん	15℃以上 18℃以下		－5℃以上			腐敗果の発生や品質低下を防ぐため、11月から収穫前までにおいて降霜が少ないこと。
	いよかん、はっさく	15.5℃以上					す上がり等の品質低下を防ぐため、12月から収穫前までにおいて－3℃以下にならないこと。
	ネーブルオレンジ、甘夏みかん、日向夏、清見、しらぬひ、はるみ、ぽんかん、きんかん	16℃以上					
	ぶんたん類	16.5℃以上		－3℃以上			
	たんかん	17.5℃以上					す上がり等の品質低下を防ぐため、12月から収穫前までにおいて－2℃以下にならないこと。
	ゆず	13℃以上		－7℃以上			傷害果や病害果の発生を防ぐため、強風の発生が少ないこと。
	かぼす、すだち	14℃以上		－6℃以上			
	レモン	15.5℃以上		－3℃以上			す上がり等の品質低下を防ぐため、11月から収穫前までにおいて降霜が少ないこと。 傷害果や病害果の発生を防ぐため、強風の発生が少ないこと。
りんご		6℃以上 14℃以下	13℃以上 21℃以下	－25℃以上	1,400時間以上	1,300㎜以下	枝折れや樹の倒壊を防ぐため、平年の最大積雪深が概ね2m（わい化栽培においては概ね1.5m）以下であること。 花器・幼果の障害を防ぐため、蕾から幼果期において降霜が少ないこと。
ぶどう		7℃以上	14℃以上	－20℃以上 欧州種については －15℃以上	巨峰については500時間以上	1,600㎜以下 欧州種については 1,200㎜以下	枝枯れや樹の倒壊を防ぐため、凍害及び雪害を受けやすい北向きの傾斜地での植栽は避けること。
なし	日本なし	7℃以上	13℃以上	－20℃以上	幸水については800時間以上	二十世紀については 1,200㎜以下	枝折れや樹の倒壊を防ぐため、最大積雪深が概ね2m以下であること。 花器・幼果の障害を防ぐため、蕾から幼果期において降霜が少ないこと。
	西洋なし	6℃以上 14℃以下	13℃以上	－20℃以上	1,000時間以上	1,200㎜以下	
もも		9℃以上	15℃以上	－15℃以上	1,000時間以上	1,300㎜以下	枝折れや樹の倒壊を防ぐため、最大積雪深が概ね2m以下であること。 花器・幼果の障害を防ぐため、蕾から幼果期において降霜が少ないこと。
おうとう		7℃以上 15℃以下	14℃以上 21℃以下	－15℃以上	1,400時間以上	1,300㎜以下	枝折れや樹の倒壊を防ぐため、最大積雪深が概ね2m以下であること。 花器・幼果の障害を防ぐため、蕾から幼果期において降霜が少ないこと。
びわ		15℃以上		－3℃以上			傷害果や病害果の発生を防ぐため、強風の発生が少ないこと。